

「自然広場から：近隣の自然の変化に目を向ける No.16 6月の二花展にて Two Flower Exhibition in June」

2020年7月2日

早7月、今日7/3は年間で一番日の入りが遅い日だ。すでに梅雨に入り、自然は大雨と強風が続いている。コロナ感染だけでなく熱中症にも気をつけなければならない。気温と気象情報（梅雨前線の位置）を調べてから一日を始めている。

さて、6月を代表する2つの花展を楽しんだ。一つは花菖蒲。明治神宮や都立水元公園が有名だが、近隣の農家の畑で見事に咲いていた。水辺でもないのに、と不思議に思ったので調べてみると、日当たりでも水やりをして乾燥させなければきれいな花をつけるとあった。アヤメも同じようだ。

ホタルブクロとの出遭いは初夏の楽しみだ。今年も散歩道沿いに咲いてくれた。だが、白花とは出遭えなかった。その代わりに、買い物に行く途中、藍色の大型の花が目に入った。驚喜して5枚パチリ。ゲンジボタルをフクロの中に入れてみたいものだ。

http://sengawacx.com/LookNatureN016_2020.jpg

今朝、芦花公園で四つ葉のクローバーを初めて見つけた。また、その近くにシンジュの木があり、昨夜の強風で花が地面に落ちていた、漢字名は？アコヤガイの中に真珠ができるように花の中に膨らみがあったので「真珠の木」と予想したが、実は「神樹」。出遭いは神の恵みと心から信じられた。

